

## 1 活動名

## 居住地校とのオンライン交流学習

## 2 対象

- ・ 小学部児童 （相手校：登米市立佐沼小学校）

## 3 内容と取組の様子

- ・ 今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、対面による居住地校学習は行わず、オンラインによる交流学習を計画した。
- ・ 宮城県全域で G Suite for Education が導入されたので、相手校との事前打ち合わせや事後の連絡調整等をアプリ「Classroom」で行った。
- ・ オンラインによる交流学習の内容は、互いに今頑張っていることを写真や動画で紹介したり、発表したり、視聴したりした。テレビ画面に相手校の教室の様子や発表スライドがリアルタイムで投影されたので、離れていても同じ時間を共有し、お互いに繋がっている実感をもつことができた。
- ・ 最後にテレビ画面の前で集合写真を撮った。約 25 分間の交流だったが、テレビ画面に手を振り、別れがたい様子だった。来年度への居住地校学習への期待感をもつことができた。
- ・ 相手校からは、Classroom 内にオンラインで交流できたことへの感想や本校児童へのメッセージがすぐに届いたので、学習の様子を保護者にすぐに伝えることができた。
- ・ 事前に機器接続確認等を細やかに行ったことで、接続が困難な場合の対応策を準備することができた。



## 4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・ G Suite for Education (Google Classroom, Meet)
- ・ Keynote, iMovie, 卓上タブレットスタンド, ドキュメント

## 5 おすすめポイント

- ・ 宮城県全域で G Suite for Education が導入されたので、相手校との事前打ち合わせや事後の連絡調整を、電話や郵送以外の方法でも行うことができた。
- ・ オンラインで他校とつながる手段がまた一つ増えたことで、新しい学習様式における交流学習や居住地校学習のあり方の一提案となった。

## 6 さらに工夫したいこと

- ・ 授業の内容をさらに検討し、児童同士の交流や理解がより深められるようにしていきたい。